

バイオ計測技術が生み出す膨大なデータから、役に立つ知見を見つけるには、データを解析するテクニックが必要となります。表計算ソフト上で気合と根性と膨大な時間を使って行ったデータ処理が、Pythonというプログラミング言語を覚えれば、あっという間に終わります。Pythonは、バイオインフォマティクス技術を活用したデータマイニング、AIの活用への近道です。そこで本講座はデータ解析の必要に迫られた大学院生を対象に、学生チューターに助けをもらいつつ自習用教材を用いて、Pythonを使う基礎を学びます。今回はPython自習用資料の作成と、学生チューターが学生を教える形式のテストとして、小規模に行います。

• **日時**：2018年12月18日（火）13:00～17:00

• **場所**：大阪大学情報科学研究科B棟 B618演習室  
⇒ [アクセス](#)

• **内容**：

自習形式。教材をもとに自分で学習。わからないところはチューター役の学生に聞く。

- ◆ Pythonのインストーラー
- ◆ Python上でのプログラミング基礎（変数、リスト、辞書、if文、for文）
- ◆ モジュールのインポート
- ◆ 数値データファイルの読み込み
- ◆ 統計解析（t検定、階層化クラスタリング）
- ◆ データファイルの書き出し

• **プログラム**：

- 13:00- Python起動
- 14:00- Python上でのプログラミング基礎
- 15:00- 統計解析
- 16:00- 課題をクリアしてみる。
- 17:00- 情報交換会

• **対象**：生物工学分野の大学院生

• **募集人数**：大学院生6名程度（多数の場合選考あり）

• **参加費**：無料（自習用資料の作成に協力していただきます）

• **持ち物**：Windows10が入ったノートパソコン。USBメモリ。

• **申込み方法**：2018年11月30日（金）までに1) 参加希望者名、2) 所属、3) メールアドレス、4) 電話番号、5) Pythonで解析したいテーマを記入したメールを下記までご送付ください。

• **問合せ先**：

大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報計測学講座  
松田 史生

**E-mail** TEL:06-6879-7433

[⇒ バイオ計測サイエンス研究部Topへ](#)